

マツヘリカメムシ (*Leptoglossus occidentalis*) の徳島県からの記録

大原賢二¹

[Kenji Ôhara¹: First record of *Leptoglossus occidentalis* (Hemiptera, Coreidae) from Tokushima Prefecture, Shikoku, Japan]

摘要: 北アメリカ原産のヘリカメムシの一種、マツヘリカメムシ 1 頭を名東郡佐那河内村のネイチャーセンターで採集し徳島県初記録として報告した。

キーワード: 北アメリカ, 外来種, 分布拡大, マツ類

マツヘリカメムシ (*Leptoglossus occidentalis* Heidemann, 1910) は北アメリカ原産のヘリカメムシの一種で、日本では 2008 年に東京で発見されたのが最初の記録で (石川・菊原, 2009), その後、各地で発見されているが、四国では 2021 年に香川県高松市で発見されたのが最初の記録であった (玉川ほか, 2022)。

筆者も近畿地方 (根来・植田, 2014; 井藤, 2015) や中国地方 (鶴ほか, 2020) での発見報告を見るたびに、四国でも発見されるのではないかと注意はしていた。しかし多くの場合、壁に止まったとか、クモの巣にかかっていた、あるいは建物内で発見されたというような採集例が多く、マツの害虫とされている (石川・菊原, 2009) もの、現時点では生息環境などが明確でなく、この種を対象とした調査はしていなかった。

2022 年 10 月、筆者の勤務する徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンターで本種を発見・採集したので、徳島県初記録として報告する。

マツヘリカメムシ

1 頭、徳島県名東郡佐那河内村上字大川原ネイチャーセンター内、2022 年 10 月 15 日、16 時 30 分頃採集。

(標本は徳島県立博物館に保管)

建物の外壁に静止している個体を採集した。

ネイチャーセンターは標高が 700m の地点にあり、周りにはかなり広いアカマツ林もあるので発生している可能性もあるが、付近のアカマツの幹の目視調査や枝先などをネットですくっても、現時点ではこの個体以外には発見できていない。また鳴門市や阿南市などの海岸のマツ林なども調査できていないが、すでに広く分布している可能性もある。

なお、本種について兵庫県立人と自然の博物館の山田量崇氏に四国での状況をお尋ねしたところ、香川県での昨年との記録とその報告があること、徳島県ではまだ記録はないと思うとの返事をいただいた。



図 1. ネイチャーセンターで採集したマツヘリカメムシ

ご教示下さった山田量崇氏に厚くお礼申し上げます。

(引用文献)

- 石川 忠・菊原勇作. 2009. 北米産ヘリカメムシ *Leptoglossus occidentalis* Heidemann の日本からの初記録. 昆虫 (NS), 12(3):115-116.
- 伊藤誠人. 2015. 兵庫県神戸市で採集されたマツヘリカメムシ. きべりはむし, 38 (1): 26.
- 根来淳代・植田義輔. 2014. マツヘリカメムシの大阪府枚方市からの記録. きべりはむし, 37 (1): 41.
- 玉川晋二郎・田村茉織・安森盟文. 2022. 香川県におけるマツヘリカメムシの記録. 月刊むし, (613) : 32-33.
- 鶴 智之・大生唯統・田村 昭. 2020. 外来種マツヘリカメムシの鳥取県からの初記録と分布の拡大状況に関する考察. 鳥取県立博物館研究報告, (57) : 37-43.

2022 年 12 月 6 日受付, 12 月 20 日受理.

¹ 徳島県立佐那河内ネイチャーセンター 〒771-4102 名東郡佐那河内村上字大川原. Tokushima Prefectural Nature Centre, Okawara, Sanagochi, Tokushima, 771-4102, Japan.